

## 諏訪之瀬島

### 概 況

1 日と 2 日に計 39 回の爆発的噴火が発生しました。また、火山性連続微動を 4 月 28 日～ 5 月 2 日にかけて観測するなど、火山活動が一時的に活発になりました。

### 噴火活動の状況

爆発的噴火は、1 日 35 回、2 日 4 回の計 39 回(4 月：1 回)発生しました(図 3、図 4)。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、1 日は爆発音や鳴動が聞かれ、多量の火山灰の噴出が確認されました。集落(御岳の南南西約 4 km)への降灰はありませんでした。

### 噴煙活動の状況

中之島に設置している監視カメラ(諏訪之瀬島の北東約 25km)による観測と十島村役場諏訪之瀬島出張所による報告では、噴煙高度の最高は 1 日の火口縁上 600m でした(図 3、図 4)。

### 地震・微動活動の状況

火山性地震の発生回数は、A 型地震が 7 回(4 月：7 回)、B 型地震が 122 回(4 月：80 回)と、やや多い状態で推移しました。火山性微動は 218 回(4 月：51 回)でした(図 3～5)。火山性連続微動が 4 月 28 日～ 5 月 2 日にかけて発生しました(図 4)。

### 上空からの観測の状況

12 日に海上自衛隊鹿屋航空基地救難飛行隊の協力を得て、上空からの観測を実施しました。御岳火口の噴気量は少なく、御岳火口北東側に形成された新しい火孔の噴煙は白色・ごく少量で火口縁付近まで上がっていました。また、従来の火孔には水溜りが出来ており、その周辺で白色・ごく少量の噴気が上がっているのを確認しました(図 2)。

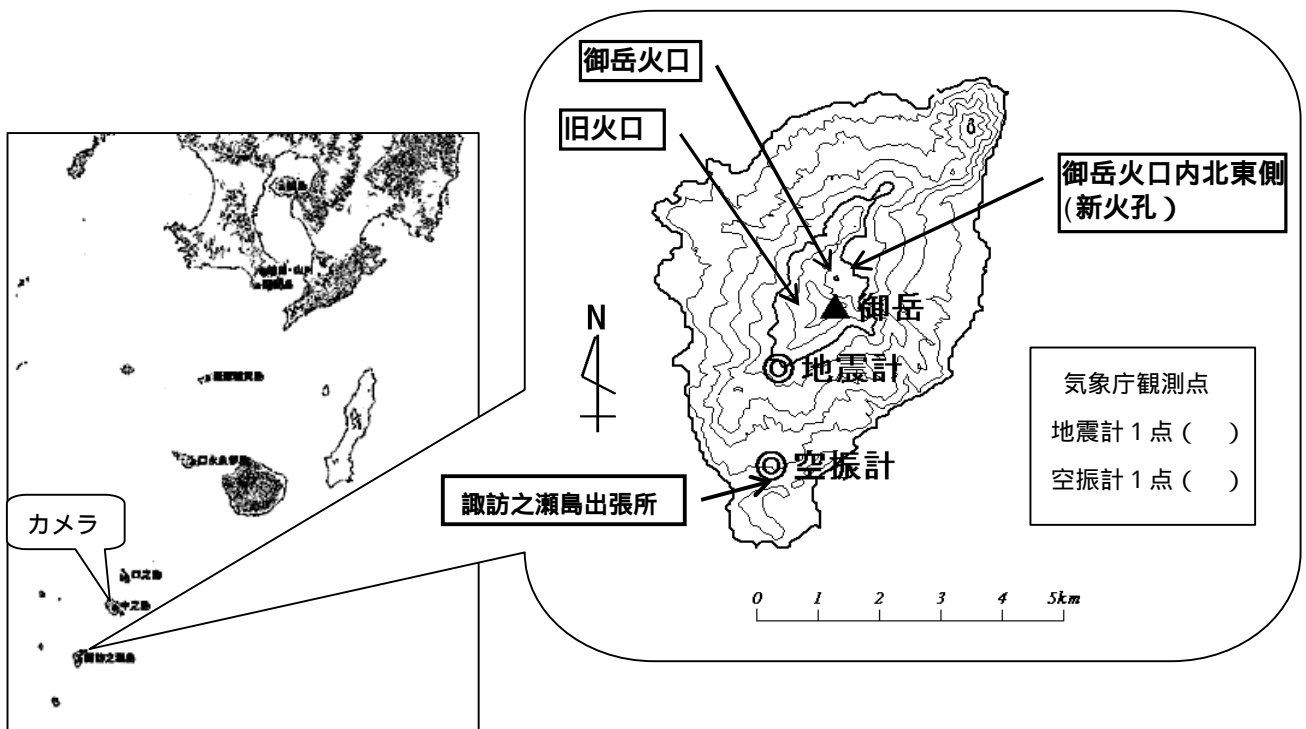


図 1 観測点位置図



図 2 上空から見た御岳火口(本年 5 月 12 日北東側より撮影)

破線で囲んだ箇所が、新しい火孔  
実線で囲んだ箇所は、従来からの火孔  
(手前の火孔は 2000 年 12 月に形成)

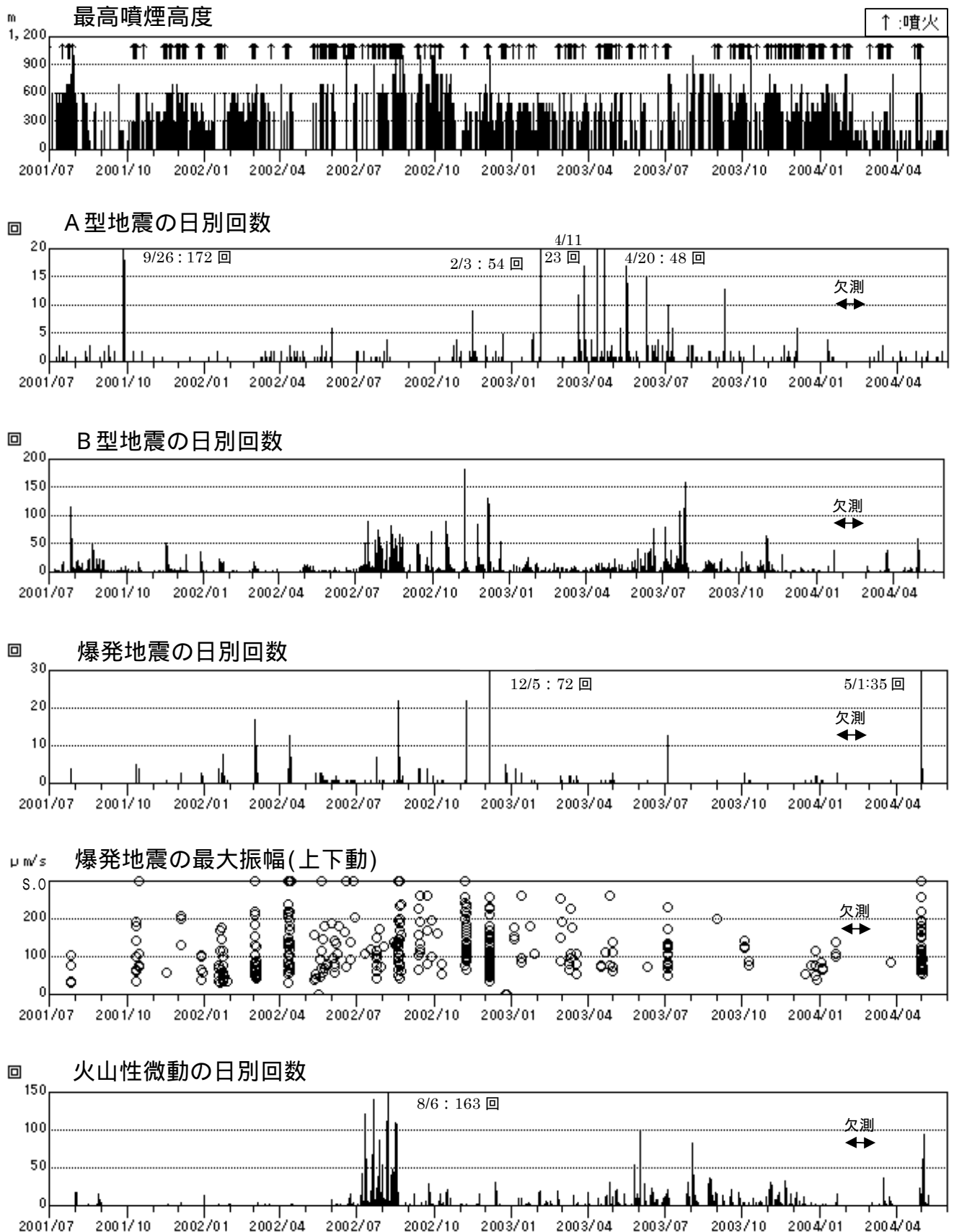


図3 火山活動経過図(2001年7月～2004年5月)

2004年1月22日から2月26日まで地震計データ伝送機器故障のため欠測。

2003年3月28日以降、最高噴煙高度は監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告値のうち高い値を表している。

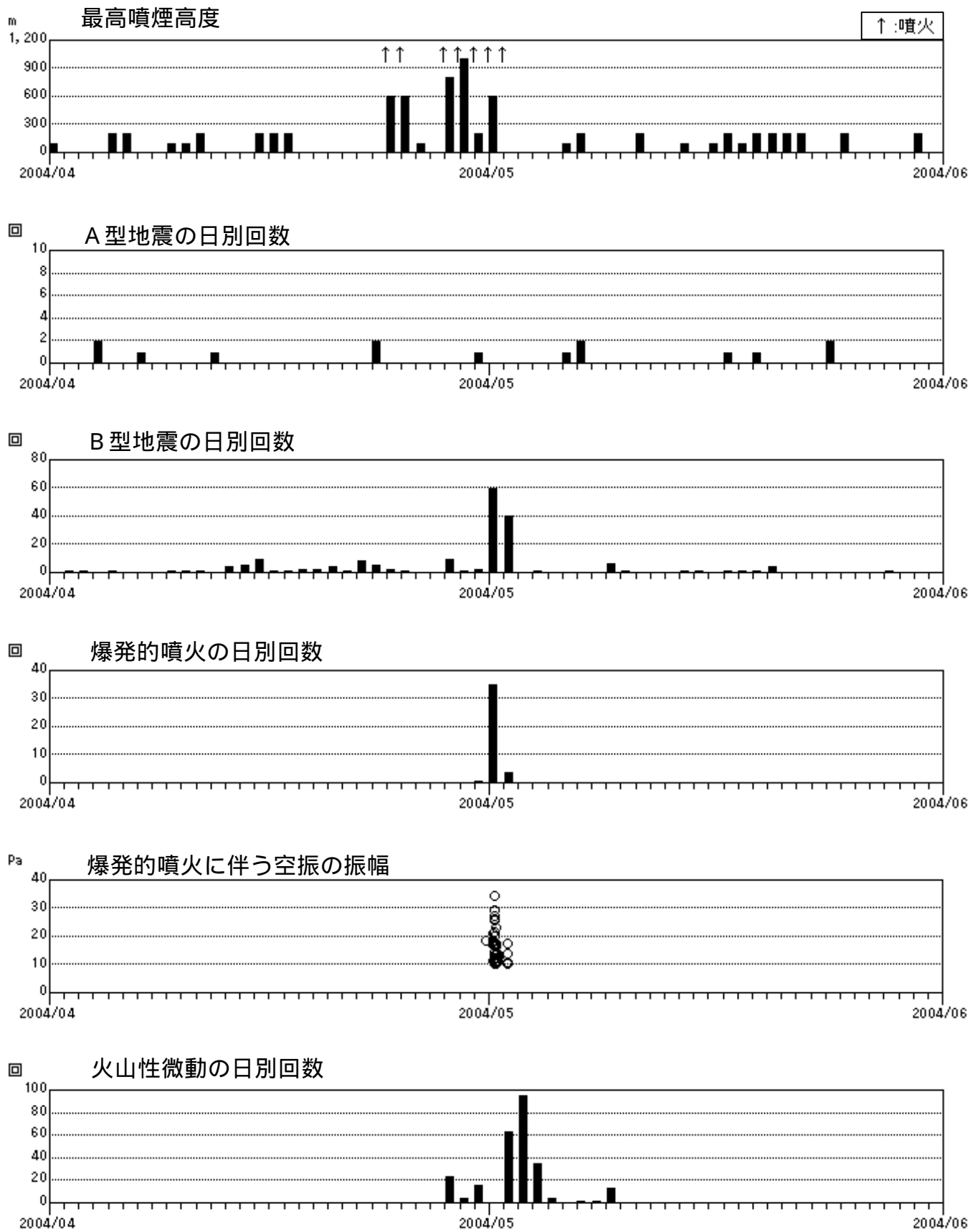


図4 火山活動経過図(2004年4月1日～5月31日)

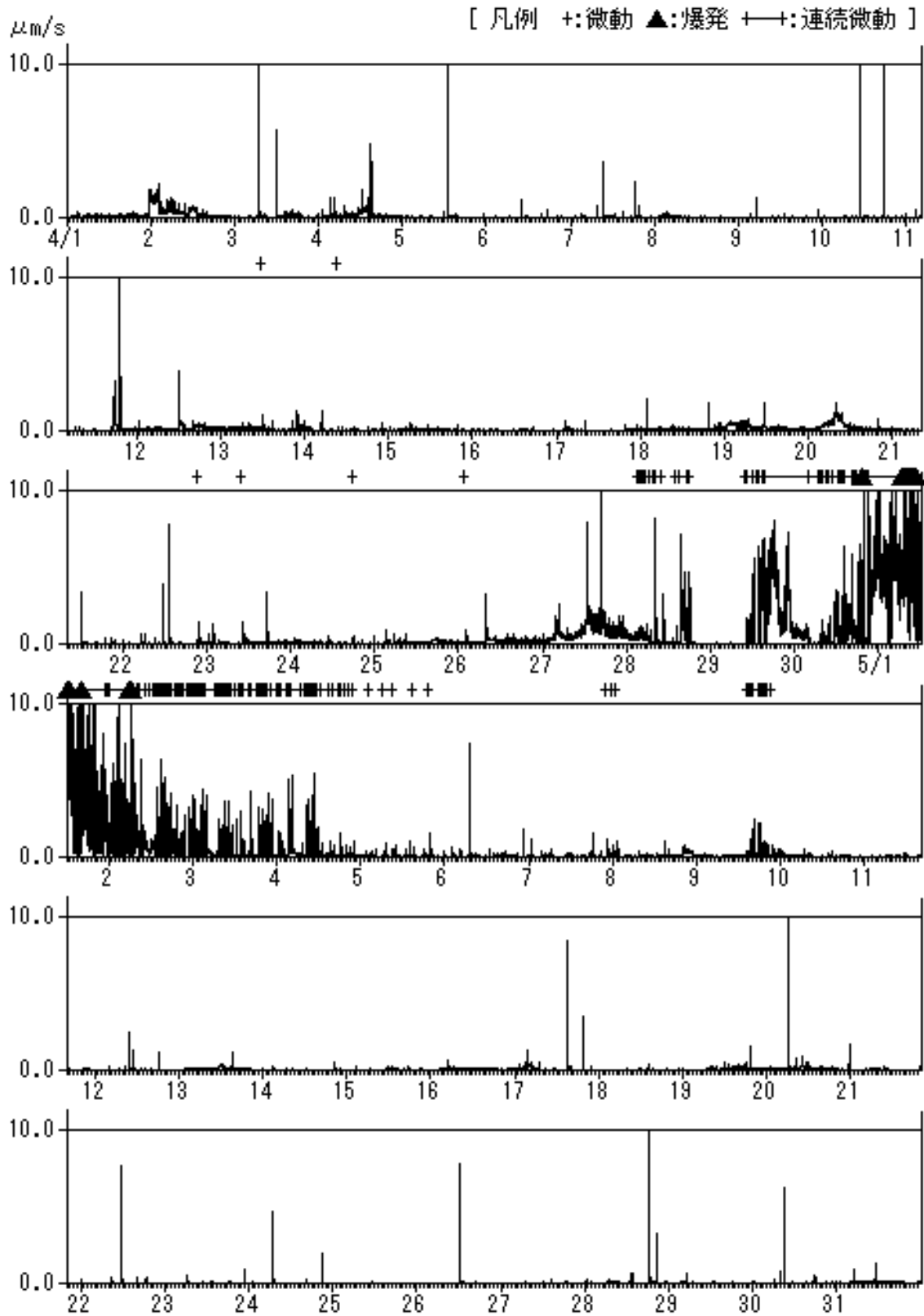


図5 地震計(上下動)の1分間平均振幅の変化(2004年4月1日～5月31日)